CAMCOM GROUP

Annual Report FY 2022 3Q

2022年度 第3四半期 決算報告

CONFIDENTIAL

©CAMCOM GROUP

CAMCOM GROUP

Annual Report

INDEX

1. 決算概要(3Q 2022年10月～12月)
   - グループ売上収益／YoY
2. 製造派遣事業
3. 事務派遣事業
4. 委託事業
5. バイトレ事業
6. トピックス
   - キャムコムグループ
   - 株式会社インタツアー
   - 株式会社キャムテック

1.決算概要

3Q 2022年10月～12月

FY2022 3Q 業績

製造派遣がけん引し売上高は前年同期を上回る テック系新事業や新エリア展開を推進

売上高 333.0 億円　YoY 109 %

製造派遣事業

自動車業界の生産が回復傾向で人材ニーズが増加

売上高 180.0 億円　YoY 112 %

事務派遣事業

政策案件終息に伴い売上は横ばいが続く BPOサービスと連動した営業を強化

売上高 46.6 億円　YoY 99 %

委託事業

ファンドリー型サービスへの転換を推進 配膳ロボット、メタバースサービスの開発を強化

売上高 42.5 億円　YoY 100 %

バイトレ事業

スタッフ募集の鈍化を受けて売上は前年同期並み 仙台、京都など新エリアへ進出

売上高 67.8 億円　YoY 102 %

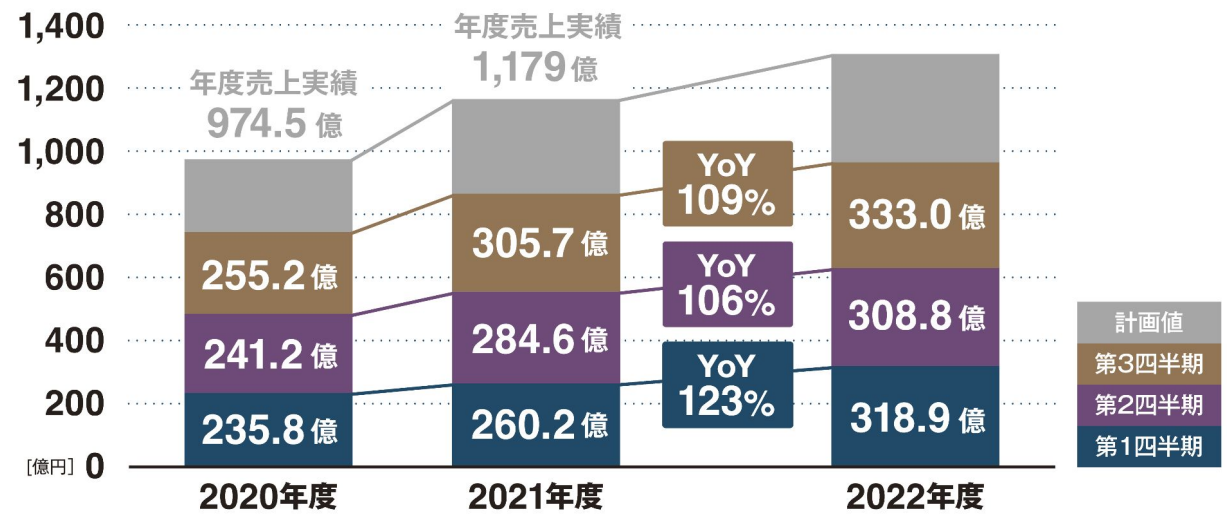
3Q売上高

売上高 **333.0 億円**　YoY **109%**

総 評

製造派遣がけん引し売上高は前年同期を上回る。
コロナ経済からの転換に対応してテック系事業や新エリア展開などの施策を推進。

グループ売上高　2020年～2022年度｜[第3四半期]



製造派遣	YoY	112%
事務派遣	YoY	99%
委託	YoY	100%
バイトレ	YoY	102%

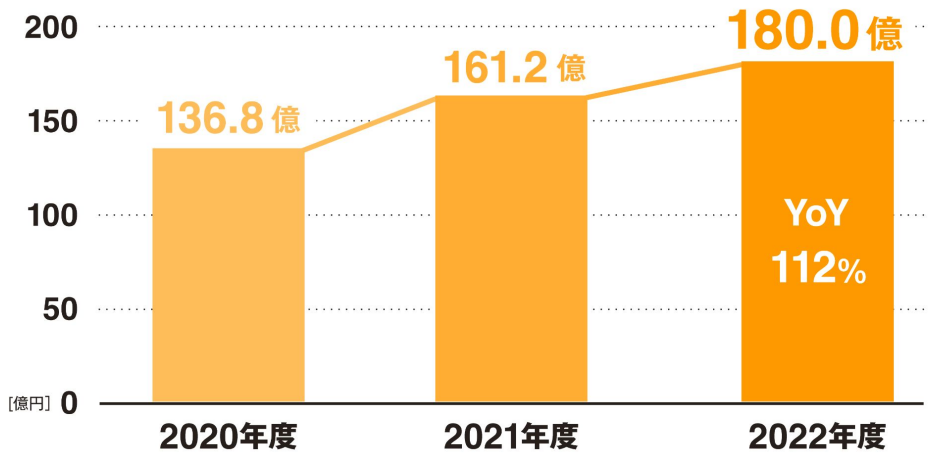
2.製造派遣事業

業 績　売上高 **180.0 億円**　YoY **112 %**

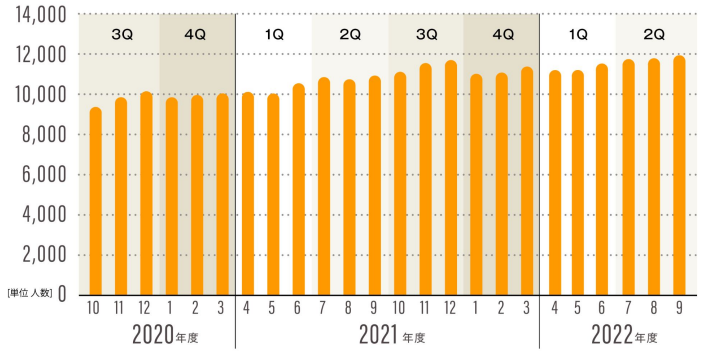
TOPICS

自動車業界の生産が回復傾向を強め、人材ニーズが好調。
スタッフ募集および定着施策として手当強化などを顧客企業と交渉し給与ファンドを確保。

製造派遣事業売上高推移　2020年～2022年度［第3四半期］



市場の動向　業務別実稼働者数 製造 ※1



製造派遣・請負サービス市場 ※2

- 2020年度はコロナの影響で多くの製造業において生産活動が停滞
- 2021年度は自動車関連や半導体関連をはじめ製造業の稼働状況が回復・正常化
- 2022年度は自動車業界で半導体の需給逼迫による部品不足・生産調整
- 製造業全体ではマイナス影響は見られず生産活動・稼働状況は概ね回復
  市場はプラス推移を予測

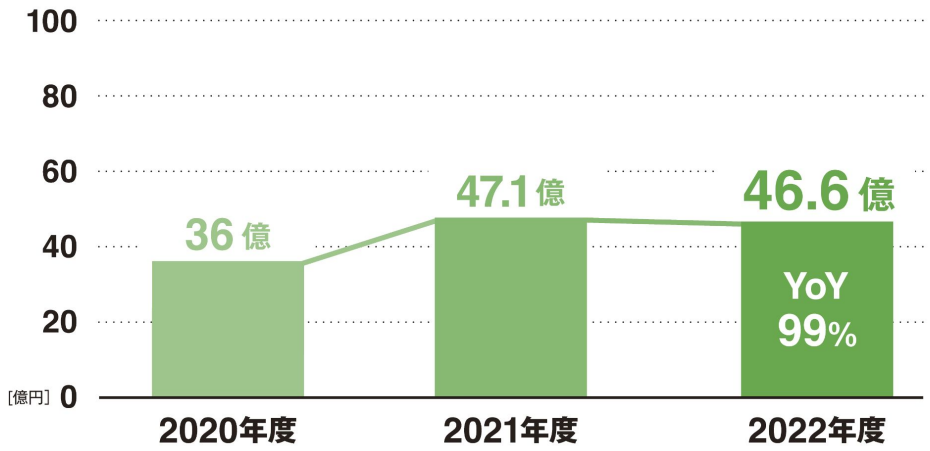
※1 出典：一般社団法人日本人材派遣協会　労働者派遣事業統計調査より　※2 出典：矢野経済研究所「2022年版 人材ビジネスの現状と展望 PART2 業種・職種別人材サービス編」

3.事務派遣事業

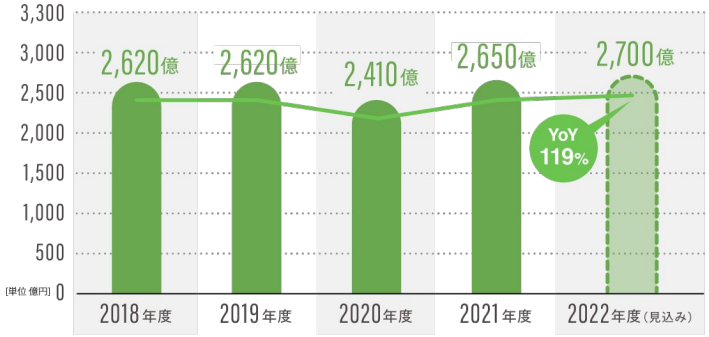
業 績　売上高 **46.6 億円**　YonY **99 %**

TOPICS　政策案件終息に伴い売上は横ばいが続く。BPO提案とのセット営業を強化。

事務派遣事業売上高推移　2020年～2022年度［第3四半期］



市場の動向　営業・販売支援人材サービスの市場規模推移 ※1



営業・販売支援人材サービス市場 ※2

- 2022年度市場規模は前年度比119%で推移
- 2021年度公共関連需要は縮小
- 下半期から「全国旅行支援」などで人材需要が高まる

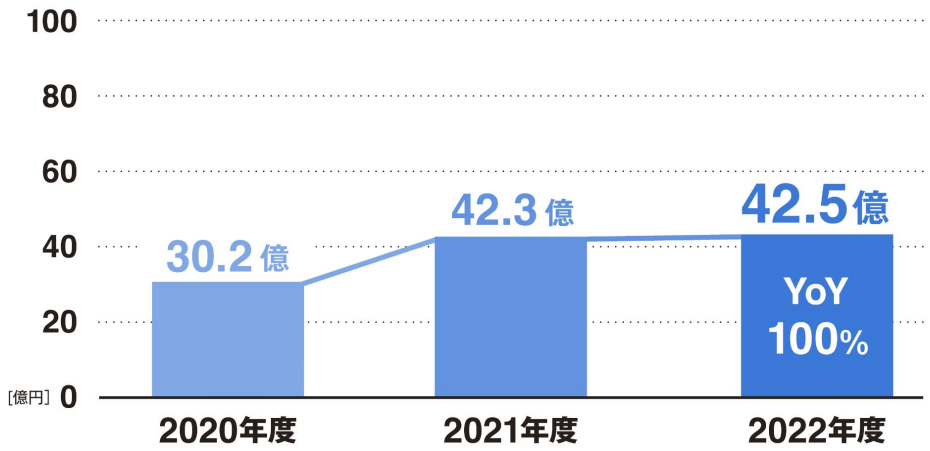
※1 出典：矢野経済研究所「2022年版 人材ビジネスの現状と展望 PART2 業種・職種別人材サービス編より」 ※2 出典：矢野経済研究所「2022年版 人材ビジネスの現状と展望 PART2 業種・職種別人材サービス編」

4.委託事業

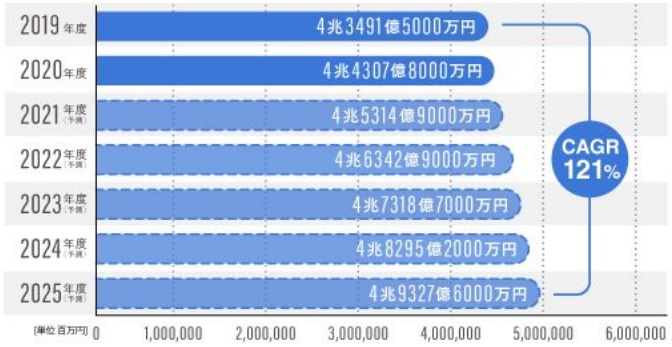
業 績　売上高 **42.5 億円**　YonY **100%**

TOPICS
ファンドリー型サービスへの転換を推進 配膳ロボット、メタバースサービスの開発を強化。
BPOベンダーとの協業強化や、柏保税倉庫の認可取得など物流関連事業の強化を実施。

委託派遣事業売上高推移　2020年～2022年度［第3四半期］



市場の動向　BPOサービス全体の市場規模予測推移 ※1



BPOサービス市場 ※1

- 2020年はコロナ禍によりマイナス影響
- テレワークの普及、働き方改革やDXの推進が追い風
- 旺盛なBPOニーズに支えられてマーケットは引き続き堅調
- 2019年度～2025年度の年平均成長率（CAGR）は121%で推移し
  2025年度のマーケットサイズは4兆9,327億6000万円になると予測

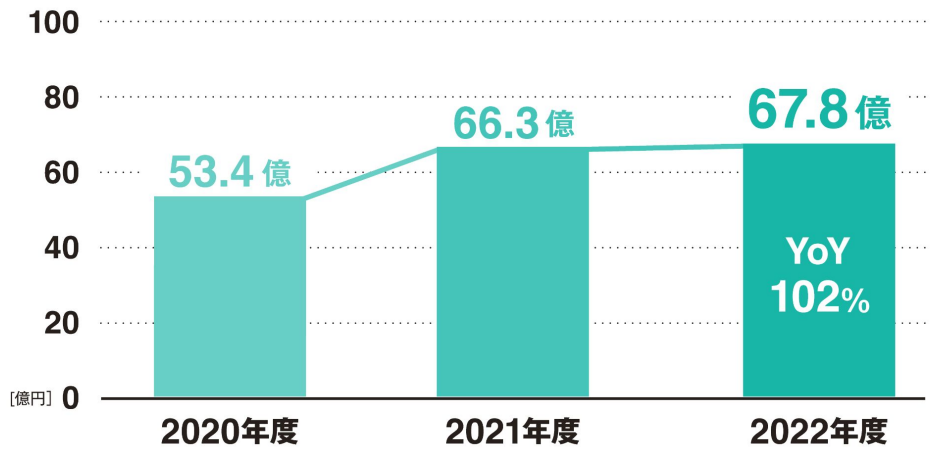
※1 出典：矢野経済研究所「BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）市場の実態と展望 2021-2022」より

5.バイトレ事業

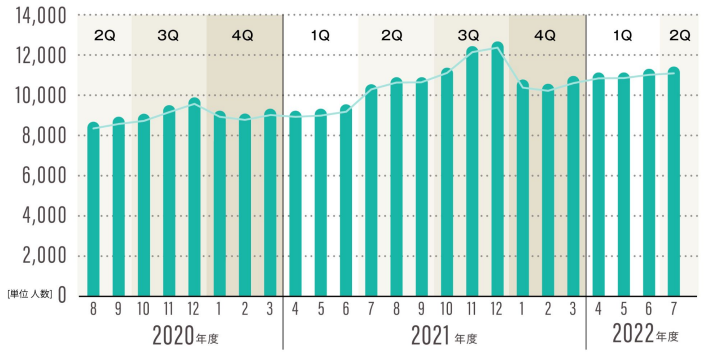
業 績　売上高 **67.8 億円**　YonY **102 %**

TOPICS
スタッフ募集の鈍化を受けて売上は前年同期並み。
仙台、京都など新エリアへ進出するほか、ロジテックとの協業施設を千葉に新設。

バイトレ事業売上高推移　2020年～2022年度［第3四半期］



市場の動向　業務別実稼働者数 軽作業 ※1



物流施設向け人材サービス市場の動向 ※2

- EC市場拡大に伴う配送需要の増加
- 物流施設向けの人材派遣やパート・アルバイト紹介などの需要が高まる
- 2020年春先の巣ごもり需要増加で人手不足に拍車がかかる
- EC市場の更なる拡大による需要増大で市場規模は伸長
- 作業の自動化・機械化、低賃金の待遇改善が課題になる

※1 出典：一般社団法人日本人材派遣協会　労働者派遣事業統計調査より　※2 出典：矢野経済研究所「2022年版 人材ビジネスの現状と展望 PART2 業種・職種別人材サービス編」

6.トピックス

News Release

綜合キャリアグループは、2022年12月1日より「キャムコムグループ」へ統合

グループ企業の持つ顧客・技術・人材リソースを統合し、「人を力づけて”いい仕事を”創り、生きる力にあふれた社会を創る」ことを目的に、グループ一丸となって更なる利便性を提供してまいります。

新グループ名称「キャムコム」は、社会や企業が求める価値に応え、働き手が自らの力を発揮できる豊かな雇用を生み出そうという意思を込めています。
キャム＝Career Asset Management、
コム=Company/Community/Communication
を表し、個人の資産運用や貢献、
DXの進展を目指しています。

コーポレートサイト
https://cam-com.inc/

旧社名

SCG
SOUGO CAREER GROUP

新社名

CAM COM
キャムコム
グループ

News Release

「インタツアー」が2022年度グッドデザイン賞を受賞

新卒採用向けのリーレション採用プラットフォーム「インタツアー」が
2022年度グッドデザイン賞を受賞

受賞理由

- 就活前の1・2年時から
  企業と交流ができるプラットフォーム

- ミスマッチの解消を通して
  社会の課題を解決

サービスサイト
https://www.g-mark.org/gallery/winners/12208

News Release

キャムテック提供の教育プログラムが、インドネシア政府による技能実習生プロジェクトで採用

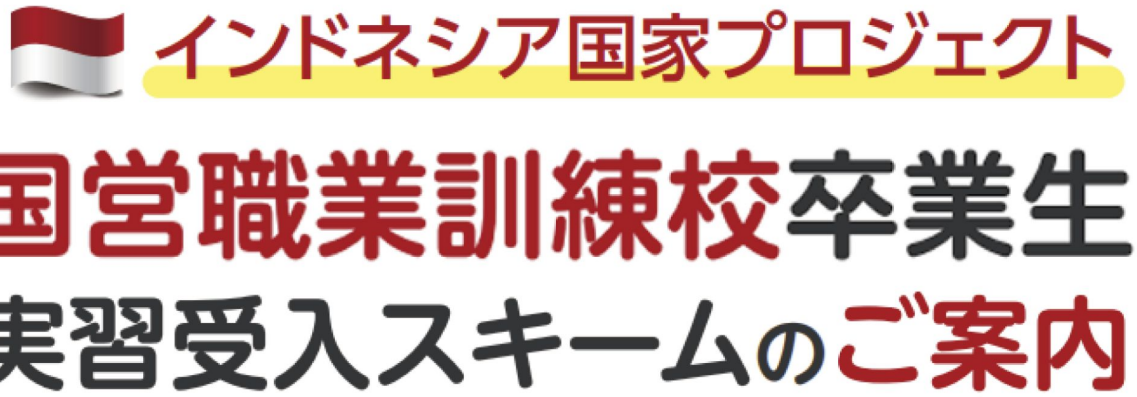
インドネシア政府と監理団体JOE協同組合が実施する、インドネシア国営職業訓練校の卒業生を技能実習生として日本に受け入れるプロジェクトに、当社の日本語教育プログラムや研修施設が採用されました。

技能実習生に費用的負担が発生しない新しい取り組み

キャムテックは各種サービスや施設を提供
■日本語教育オンラインサービス「edupoke」
■宿泊型研修施設
「キャムテックエデュックアカデミー」
入職に備えた研修プログラム

同プロジェクトは次年度以降も拡大・継続を予定

スキームのご案内
https://sougo-group.jp/pdf/cam_gms_2022_0921.pdf



THANK YOU

CAMCOM GROUP https://cam-com.inc

COM-2304-nm